

第57回 手をつなぐ育成会 関東甲信越大会 栃木大会

報告書

「自分らしくこの地域で豊かに暮らしたい」



開催日時 令和5年11月18日(土)
会場 栃木県総合文化センター
主催 一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会
関東甲信越ブロック手をつなぐ育成会連絡協議会

ご来賓名簿

栃木県 副知事 天利 和紀 様
栃木県議会副議長 関谷 暢之 様
宇都宮市副市長 東 智徳 様
(一社)全国手をつなぐ育成会 会長 佐々木 桃子 様
(一社)全国手をつなぐ育成会 常務理事 又村 あおい 様
(独)国立重度的障害者総合施設のぞみの園 理事長 田中 正博 様
栃木県教育員会事務局 特別支援教育課 課長 玉田 敦子 様
(社福)栃木県社会福祉協議会 会長 関根 房三 様
(特非)栃木県障害施設・事業協会 会長 菊地 達美 様
栃木県保健福祉部 障害福祉課 課長 上野 治久 様
栃木労働局 局長 奥村 英輝 様
とちぎ障がい者相談支援専門員協会 理事 疋田 友子 様



中央情勢報告



全育連 常務理事兼事務局長
又村 あおい 様

私からは「中央情勢報告」ということで、30分ほどお話をさせていただきます。

まず、法制度の動きですが、来年4月に障害者総合支援法と、それから児童福祉法の法改正が施行されるということで、このお話をさせていただきます。今回の報酬改定の資料

は入れようと思えば入れられたのですが、まだ議論中ですので、もう少し後になります。法改正の話だけでも結構大きく動きます。そこを少しお話したいと思います。

(障害児支援)

障害のあるお子さんの支援は、法律上で2つ動きがございます。

一つは、障害のあるお子さんの通所。児童発達支援と放課後等デイサービス、あと、保育所等後方支援。特に、児童発達支援と放課後等デイサービス、略して「児発」と「放デイ」と言いますが、「児発」と「放デイ」の部分が、かなり法律上動くということです。

それともう一つ、障害児入所支援の動きが大きく変わります。これを先にお話します。

障害児入所施設への入所は、市町村ではなくて、都道府県や政令指定都市が持つ児童相談所が支給決定する仕組みです。なぜかというと、障害児入所の施設が少ないからです。恐らく、栃木県内にも数えるほどしかなくて、その数えるほどしかない施設への入所を市町村が支給決定すると、定員に対する調整が効かなくなってしまうので、児童相談所が広域で対応しようということになります。これはやむを得ないことですが、一つ問題になるのは、市町村は障害児入所施設に住んでいる障害のあるお子さんが入所している状況をほとんど知りません。児童相談所が決定していますから。

そうすると、入所しているデータを知らないまま、入所者が17歳になって急に「そちらの市町村のお子さんが施設に入所していますが、来年18歳になるので、市町村に戻りますからよろしく」と言われます。成人として生活するため、地域移行するのが前提ですが、これは市町村側からすると、非常に困ることで、「いきなり言われても困ります」、「残念ながら帰って来られたら困ります」と断っちゃうケースが結構ありますね。これは非常に課題で、何が起ころかっていうと、18歳でも20歳でも25歳でも移行できず、障害児入所施設に入所していたお子さんが大人になってしまう。こういう問題がありました。

これを解決するために、今後は児童相談所を持っている都道府県や政令市の責任で協議の場を設置して、入所しているお子さんの年齢がもっと若いうち、例えば15歳ぐらいになるときには、あらかじめ市区町村に「あと3年先には、お戻りになりますから、準備してください」と

本人会 バスツアー

那須高原 お菓子の城 クラフト教室

お菓子の城那須ハートランドは、那須インターから近く、お菓子の城の他に花と体験の森などゆっくり楽しめる施設があります。その花と体験の森のクラフト教室について、自分の好きなものを自由な発想でデコレーションスイーツを作る活動を企画しました。



[受付] 9時30分～10時30分

参加者47名、担当者23名の総勢70名が栃木県総合文化センター北側の県庁西駐車場より観光バス3台で出発しました。



[ホテルサンバレー那須] 12時00分～13時00分

ホテルに到着し、レストランにおいて地元の食材を使った昼食を頂きました。



[お菓子の城] 13時20分～14時20分

昼食後、お菓子の城に移動して、花と体験の森のクラフト教室においてそれぞれに果物のサンプルのパーツを選んでデコスィーツ作りを体験しました。



その後は、お土産コーナーに移動し、買い物を楽しんで帰途に着きました。

[解散] 16時00分



参加された方からの感想

○今回、私は観光コースに参加しましたが、那須の風景をバスの車窓から眺めた時、とてもきれいだなと思いました。紅葉の景色がきれいで感動しました。お菓子の城で体験したデコスィーツは楽しく作ることができ、お昼も豪華な料理でおいしかったです。当日は晴れていましたが、雨でも楽しめる内容だなと思いました。最後に栃木県の本人活動の人たちとお会いできて良かったです。(東京都：田口さん)

○これから、お菓子の城での体験です。デコスィーツの作り方の説明を受け緊張しながら、器に材料を盛り付け、デコスィーツが完成。最後まで自分で作った出来栄えに喜びの笑顔が見られ、私もホッとしました。側で見守りながら、私の娘だったら、黙って見て居られたかと日ごろの反省をすると共に皆さん一人一人が前向きな姿勢で取り組んでいるのに感動しました。(栃木県：萩原さん)

本人部会ひまわりの会ミニコンサート

[プログラム]

- ・ひまわりの約束
- ・輪になって踊ろう
- ・マツケンサンバ



ご覧になった方からの感想

おそろいのひまわりカラーのTシャツで登場した仲間たち。最初は緊張してたのかな？
パワフルな歌声につられてだんだん元気になって踊っている姿に客席にいる私たちもつられて元気なってきました。キラキラ衣装のマツケンサンバでの大盛り上がり、とても楽しめました。練習お疲れ様でした！（宇都宮市：佐藤さん）

【第1分科会報告】

テーマ「障害のある人をまもるために 育成会の活動を」

1. 基調講演

関哉 直人氏 (弁護士)

※権利条約対日審査の総括所見など

2. シンポジウム「権利擁護：本人の主体性を尊重しましょう」

(シンポジスト)

・矢野 一隆 氏 (ピース&ピース)

・加藤 永歳 氏 (大田区立障がい者総合サポートセンター相談員)

・天野 峻介 氏 (社福 原町成年寮 支援員)

(コーディネーター)

田中 正博 氏 (国立のぞみの園 理事長)

(助言者)

関哉 直人 氏 (再掲)

※権利擁護について

(障害のある人の恋愛や結婚、家族支援、啓発活動など)



【第2分科会報告】

テーマ「教えて！私たちの子どもの卒業後の暮らし」

1. 基調講演

菊地 月香 氏（社会福祉法人 同愛会 理事長）

※卒業後の暮らしについて住まいのことなど現場の立場から

2. シンポジウム「本人を支える地域の仕組みを考えましょう」

（シンポジスト）

・厚木 喬 氏（栃木市保健福祉部障がい福祉課 係長）

・丹羽 彩文 氏（社福 昴 理事長）

・根本 昌彦 氏（国立のぞみの園 看護師）

（コーディネーター）

又村 あおい 氏（全育連 常務理事）

（助言者）

・菊地 月香 氏（前掲）

※暮らしについて

（地域生活支援拠点、重度の人のグループホームでの地域生活支援、障害のある人の健康管理など）



第 57 回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会
大会役員名簿

大会役職名	育成会名	役職名	氏名
会 長	一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会	会長	小島 幸子
副会長	一般社団法人新潟県手をつなぐ育成会	理事長	皆川 栄子
役 員	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	理事長	立原 麻里子
	一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会	会長	永井 立雄
	山梨県手をつなぐ育成会	会長	宮城 隆
	一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会	代表理事	加藤 シゲヨ
	神奈川県手をつなぐ育成会	会長	中川 孝子
	千葉県手をつなぐ育成会	会長	久保田 洋一
	川崎市育成会手をむすぶ親の会	会長	美和 とよみ
	公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会	理事長	高野 淑恵
	千葉市手をつなぐ育成会	会長	成田 智子
	一般社団法人群馬県手をつなぐ育成会	会長	江村 恵子
長野県手をつなぐ育成会	会長	中村 彰	





大会を終えて

大会会長 小島 幸子

多くの皆さまのご協力をいただき第57回手をつなぐ育成会関東甲信越大会栃木大会を無事に終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

会場受付付近で、当日お手伝いをしていただいたある方が「皆さん、やって来られるのを見ていて、熱心な姿というか、保護者の熱い気持ち、大会に向けての気持ちが伝わってきました。親は子どものためにやらなければ。権利擁護をやらないと。親のためじゃなくて、子どものためにやらねばと思いました」とお話しして下さいました。私もそう思います

また「駅で白いジャンパーの人が、バス乗り場までの道順をていねいに教えてくれて助かりました」「会場で白いジャンパーの人に親切にしてくださいましたよ」

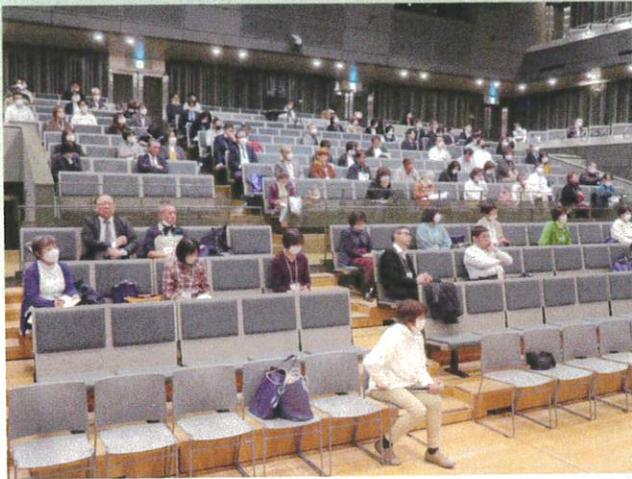
というような声も聞こえて来ました。実行委員の皆さん、本当にお疲れさまでした

コロナ禍で5類になる前でしたので、ハイブリット開催とするとWi-Fi環境が安定している福祉プラザを会場に人数制限して、式典と一つの分科会だけとするか？総合文化センターで開催するとしても昼食の取り方はどうしよう？といろいろと悩みました。結果。感染症に配慮して無事に終わりホッとしています

今回の2つの分科会では、基調講演もシンポジストも栃木県にゆかりのある方をお願いしました。コーディネーターは、田中理事長(国立のぞみの園)と又村常務におまかせしておかげさまで中身の濃い内容となりました。

最後に本人部会ひまわりの会のミニコンサートも大好評でした。大舞台に立つために練習を重ねました。本人たちはもちろんのこと、熱心に教えて下さった先生方、そして保護者が楽しみながら、取り組んでいる姿が印象に残りました。これを契機に今後は、自分たちの思いが言えるようにサポートしていきたいと思えます。私たち、保護者が願うことは本人の幸せと笑顔なのですから。今後ともよろしく願いいたします





一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会

〒320-8508

栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ福祉プラザ内

TEL 028-624-3789 FAX 028-624-8631

<http://www.tochiteiku.jp>